

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	エル・ソーラ仙台
2 指定管理者	公益財団法人せんだい男女共同参画財団
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
4 施設の利用状況	<p>《利用者数》 令和4年度 41,995人 (※)(前年度比 134.0%) 令和3年度 31,350人 (※) 令和2年度 30,616人 (※) ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための措置については下記①～⑨参照。 ①令和2年2月20日から令和3年9月30日までの予約について、感染拡大防止を理由に利用を取りやめた場合は施設使用料を全額返金。 ②令和2年3月5日から5月31日までの利用にかかる新規申込受付を停止。 ③令和2年4月10日から5月31日までの利用自粛を要請。 ④令和3年3月27日から5月11日までの利用にかかる新規申込受付を停止及び同期間の利用自粛を要請。 ⑤令和3年8月20日から8月29日までの20時以降にかかる新規申込受付を停止及び同期間の利用自粛を要請。 ⑥令和3年8月30日から9月12日までの利用にかかる新規申込受付を停止及び同期間の利用自粛を要請。 ⑦令和3年9月14日から9月30日までの20時以降にかかる新規申込受付を停止及び同期間の利用自粛を要請。 ⑧令和4年1月1日から6月30日までに感染拡大防止を理由に取りやめ手続きをした予約について、施設使用料を全額返金。 ⑨令和4年7月20日以降、感染拡大防止を理由に取りやめ手続きをした予約について、施設使用料を全額返金(令和5年5月7日利用分まで)。</p> <p>《事業》 ・施設の管理運営 ・男女共同参画関連情報の収集提供 ・各種相談の実施 ・男女共同参画に関する市民活動の支援及び交流の促進 ・大規模災害時における仙台市女性支援センターの運営</p>
5 収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 233,271千円 (223,885千円) ・ その他市が負担した費用 106,349千円 (108,953千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 7,118千円 (5,536千円) ・ その他収入 31千円 (19千円)
6 利用者の声	<p>《実施状況》</p> <p>①利用者アンケートの実施 令和4年11月15日から12月14日まで施設利用者に対してアンケートを実施し、アンケート結果及びサービス改善に対する提案・意見への回答を施設内に掲示するとともに、ホームページ上で公開した。</p> <p>②センター利用団体交流会の実施 「男女共同参画推進せんだいフォーラム2022」期間中に、センター利用団体同士の情報交換を促す交流会を実施し、利用者の意見を職員が聴き取った。</p>

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的や施設運営上の基本方針に基づき、適切に管理運営されており、設置目的の達成に向けて、職員一人ひとりが事業企画や施設管理に反映できるよう、会議や研修の機会を通じて意識を共有している。また、館内の壁面や展示スペースを活用し、センターの事業や機能の紹介を常時行っているほか、男女共同参画推進への理解と関心を高めるための企画展示を随時行っている。また、利用者が公平・公正に施設を利用できるよう情報提供や受付を行うとともに、市民交流・図書資料スペースの運営や財団の市民活動サポート事業などを通して市民が自主的な活動を行うための支援や交流の場を提供している。	21/21
II 施設の運営管理体制	職員の勤務状況、配置状況、施設の開館、指定管理料について適切に管理されているほか、イベント開催時や繁忙期も、施設運営や市民サービスに支障を来さないよう、柔軟な職員配置を行っている。情報セキュリティ対策では、記録媒体やデータの保管・管理を適切に行っているほか、内部研修によりすべての職員が個人情報保護について高い意識を持つよう努めている。また、事故発生時や非常時の体制も整備し、随時見直しを行っているほか、男女共同参画に係る施設の全国組織で運用する相互支援システムを活用し、災害時には全国の加入施設と連携、支援を行う体制を整えている。	31/30
III 施設・設備の維持管理	建物・設備・備品の適切な維持管理を行うとともに、清掃・警備等の委託業務についても、随時情報を共有しながら適切な管理を行っている。また、環境への配慮については、ブラインドの使用による冷暖房の効率化や窓際の消灯による節電を実施するとともに、利用者にはゴミの持ち帰りを呼びかけるなど積極的な対応を行っている。	20/20
IV サービスの質の向上	服装や身だしなみ、電話窓口対応など普段から適切な対応に努めており、姉妹館であるエル・パーク仙台との定期的なミーティングにより常にサービス向上のための情報共有を行っている。また、貸室の備品等について写真付きの資料を用意し、申し込みの際に提示しながら説明を行ったり、研修室内の音響・映像機器の操作マニュアルを見直し、よく使われる機能に絞った大きな文字と写真で簡潔に記載した簡易版を作成するなど、初めて施設を利用する方や操作に不慣れな方にも分かりやすいよう工夫を行っており、常に利用者目線に立ったサービスの提供に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	施設の使用許可、使用料徴収や収納、還付事務等については規程類に従って適切に行われている。特にコロナ感染拡大に伴う施設使用料の還付の手続きについて利用者に対し個別に丁寧に対応を行った。図書資料の収集・提供・市民活動への支援及び交流の促進について積極的に取り組んでいる。相談事業については、関係機関と連携しながらニーズを把握し、様々な課題を持った相談者に対し重層的に支援を行った。就業自立相談では3名を就業決定につなげるなど着実に実績をあげている。また、企業の女性活躍推進をサポートする「企業の未来プロジェクト」のメインコンテンツである「仙台女性リーダー・トレーニング・プログラム2022」では、地元企業から推薦されたマネージャーコース21名、エグゼクティブコース14名が参加し、約半年間にわたるプログラムを受講。女性リーダーの育成をサポートした。	32/30

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人せんだい男女共同参画財団）による自己評価》
<p>仙台市の男女共同参画推進の拠点施設として、エル・パーク仙台とともに2館で機能を分担し、センターの設置目的に則った管理運営を行っている。施設管理、市民交流・図書資料スペース運営、相談業務を協定書・仕様書に沿って円滑に実施するとともに、指定管理事業と財団自主事業等を連携させながら効果的に施設運営を行っている。</p> <p>(1) 施設管理及び市民交流・図書資料スペースの運営 窓口での丁寧なニーズの聞き取りや分かりやすい説明を心がけたほか、施設の設備・備品や利用案内を随時更新し、利用者の使い勝手を意識した施設運営を行った。毎月、課内会議やエル・パーク仙台受付担当職員とのミーティングを行い、サービス向上のための情報共有を図っている。新型コロナウイルス感染症対策では、利用者が安心して施設を利用できるようガイドラインの徹底と周知を行うとともに、作成したマニュアルをもとに施設使用料の還付事務を円滑に遂行した。</p> <p>エル・ソーラ仙台図書資料スペースにおいて男女共同参画に関する図書・映像資料を収集・提供するとともに、エル・パーク仙台においても主催事業実施の際に関連図書の貸出を行った。図書利用を促進するため、毎月テーマを決めたピックアップ図書の展示、主催事業の実施会場での関連本の紹介のほか、本を題材にジェンダーについて語り合うミニイベントを実施し、新たな利用者の登録につながった。</p> <p>(2) 男女共同参画推進に関する相談事業 令和4年度は、ロールプレイ等を通して対等なコミュニケーションを体験的に学ぶAT（アサーティブネス・トレーニング）相談を新設し、職場等での人間関係に悩む女性の自立を支援した。電話相談は前年度比で2割増加、困窮やDV等、コロナ禍の影響下で困難な状況にある女性からの多様な相談に丁寧に対応し、必要な支援につなげた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>エル・ソーラ仙台の管理運営にあたり、利用者の意見や要望を取り入れつつ、男女共同参画推進センターとしての市民活動支援、男女共同参画の推進に資する積極的な施設運営を行っている。また、図書資料等収集・情報提供事業については、主催事業や相談事業等と関連したテーマでの図書のピックアップや、事業と関連する図書をエル・パーク仙台でも貸し出せるようにするなど図書利用促進のため積極的に取り組んでいるほか、本を題材にジェンダーについて語り合うミニイベントを実施し、新たな利用者の登録や貸出につながっている。</p> <p>相談事業については、DVなど女性への暴力被害者への安全確保にも配慮した相談対応や自助グループ支援を継続して取り組んだ。また、関係機関と連携し、対象者の現状からニーズを把握し、就業自立相談や自立を目指す女性向けのキャリア支援事業につなげたほか、コミュニケーションに悩む女性が多いことを踏まえ、令和4年度より新規事業としてAT（アサーティブネス・トレーニング）相談を開始するなど困難な状況にある女性の自立支援の充実に努めている。</p> <p>女性活躍推進事業については、企業の女性活躍推進をサポートする「企業の未来プロジェクト」のメインコンテンツである「仙台女性リーダー・トレーニング・プログラム2022」を実施し、マネージャーコース21名、エグゼクティブコース14名が参加。女性リーダーの育成をサポートした。その他、社内研修への講師派遣等、質の高いコンテンツを提供し、在仙企業の女性活躍推進を強力に推し進めた。</p> <p>指定管理者として、関係する条例等の内容に基づき適切に施設の管理運営を行うだけでなく、日頃から地域の女性や団体、企業等とのネットワークを広げ、多様な主体と連携することで発信力を高めるなど、男女共同参画推進センターとしての役割を十分に果たしており、非常に優れた運営管理を行っている」と評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項	
図書資料の利用促進、男女共同参画推進に資する情報の効果的な発信	エル・ソーラ仙台における閲覧・貸出サービスだけでなく、エル・パーク仙台においても主催事業実施の際に関連図書の貸出を行った。図書等資料の更なる利用を促進するため、テーマ毎のピックアップした図書の展示、主催事業参加者に向けた関連本の紹介のほか、本を題材にジェンダーについて語り合うミニイベントを実施し、新たな利用者の登録や貸出につながった。また、図書資料の問い合わせに応じるレファレンス対応事例の蓄積・共有や、職員同士によるブックトークの活動を通して、職員の対応力や専門性の向上を図っている。
働く場における女性の活躍推進事業	財団が持っている企業リストや在仙の経済団体の広報ツールを活用することで、多くの企業への事業周知や参加につながっている。また「企業の未来プロジェクト」の修了者ネットワークと協働で関連事業を実施することで、時宜にかなったテーマ設定ができるとともに、修了者の活躍の場を提供することで彼女たちのエンパワーメントにもつながっている。
女性の暮らしと困難に関する実態調査	調査趣旨を伝えるチラシや相談先のリーフレットの同封、答えやすいような設問の設定など、より多くの有効回答数が得られる工夫を行ったことで、有効回答数1,649人、回収率33%を得ることができた。女性相談の現場で見聞きする個別の状況から、若年女性の困難な状況の仮説を設定し、本調査結果からエビデンスが得られ、必要な支援の方向性を示すことができた。
学び直しプログラム提供事業	平成30年度から令和3年度まで行った文科省の実証事業から得られた成果を活かし、仙台市の事業として実施。対象者の自立を長期的な視点で支援するプログラムとなっており、自立に向かう意欲や自信を高める効果が見えている。また、その手法を活かし、母子家庭相談支援センター（市受託事業）でキャリアカウンセリングと並行して支援する「個別パソコン基礎講習」を開始した。
困難を抱える女性への支援事業	令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響等により不安や困難を抱えた女性を支援するため、官民の支援団体等の連携による出張型相談や一時的な居場所を提供するレスパイト事業、つながりを作る機会等としての生理用品の配布を行った。各事業により、女性の現状の頭在化や各支援団体と顔の見える関係作り、困難を抱える女性を効果的な支援に繋げるきっかけ作りができた。

◎ 評価担当課（施設所管課）：市民局市民活躍推進部男女共同参画課